



# 和敬会だより

第129号

発行所  
医療法人社団 和敬会  
谷野呉山病院  
富山市北代5200  
<http://www.wakeikai.com>

発行人  
理事長 谷野 亮一郎



日本医療機能評価機構  
認定第 JG1435 号

発行日令和元年10月20日



令和元年6月14日 第28回病院杯ゲートボール大会

## 医療法人和敬会

### 基本理念

「希望に満ちた人生の回復を目指して私たちはあなたと共にある」

### 基本方針

- ・ 専門職がチームで関わり、あなたの価値観を大切に医療を提供します。
  - ・ 常に研鑽に努め、安全で質の高い医療を提供します。
  - ・ 広く情報公開に努め、あなたと共に考える医療を提供します。
  - ・ 精神科救急体制の充実や社会資源との連携を図り、地域に根ざした医療を提供します。
  - ・ 環境に配慮し、地球にやさしい医療を提供します。
  - ・ 精神疾患に対する偏見の払拭、権利擁護に努め、あなたが自らの強みを発揮できる社会づくりを推進します。
  - ・ 人材育成に努め、当院に勤務する職員が自らの強みを発揮できる職場づくりを推進します。
- 私たちは基本理念を胸に抱き、健全な病院経営の下で以上の基本方針を実践します。

職員募集専用サイト  
開設しました





# 「日本のナイトライフはどこへ向かう」

理事長・院長 谷野 亮一郎



平素より皆様には当法人へのご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部が実施した、全国の一般住民を対象とした薬物使用経験に関する二〇一七年調査報告書によれば、法令によって規制されている薬物をこれまで一回でも使用したことがある人の割合（生涯使用経験率）は、シンナーなどの有機溶剤一・一%、大麻一・四%、覚醒剤〇・五%、MDMA〇・二%、コカイン〇・三%、危険ドラッグ〇・二%であり、これらいずれかの薬物の生涯使用経験率は二・四%であることが示されています。

この中でMDMAは、専門書にも「エクスタシー、E、XTCなどの名前で呼ばれており、ダンスパーティーなどに際してよく使用される」「しばしば「レイブ」と呼ばれる徹夜のダンス・イベントで、より長く踊り続けるために使用される」といった記載があり、海外を中心にレイブ・クラブカルチャーと密接に関係し、時にそのムーブメントを強力に後押ししたとも言われています。

二〇一九年、東京オリンピックの開催を一年後に迎えた今、三〇〇〇万人超の訪日外国人を迎える日本において、新たなナイトライフの可能性を提案するプロジェクト「NOCITIVE」が開始しています。これはナビタイムジャパンと日本政府観光局（JNTO）の官民連携事業において誕生した日本のナイトライフを世界に発信するWEBメディアです。ナイトタイムエコノミーを推進する国の施策とも合致しています。安心・安全なナイトライフあつてのナイトタイムエコノミーです。風営法（風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律）改正（二〇一五年六月十七日成立、二〇一六年六月二十三日施行）、IR推進法（特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律）二〇一六年十二月十五日成立、同年十二月二十六日施行）、IR整備法（特定複合観光施設区域整備法）二〇一八年七月二十日成立、二〇一九年三月二十六日IR整備法施行令を閣議決定）に基づくナイトライフの変化は、我が国の違法薬物生涯使用経験率や薬物、アルコール、ギャンブル等の依存症有病率にどのような影響を及ぼすのでしょうか。

私自身、月一回程度クラブで踊っています。三十五歳を越えた頃からでしょうか。運動不足と歳のせいか午前〇時頃に入場して踊り始めると、ちよūdその日のお目当てのDJが登場する午前二時頃にはクタクタで、泣く泣くクラブをあとにするようになっていました。しかしここ二年間に渡る筋トレで夜通し踊れる身体を取り戻しました。私の一番のストレス解消法です。長く楽しみたいものです。



医局では、毎朝ミーティングをおこなっています。入院退院の報告、予定の確認や勉強会、講演会の案内の他、お互いのケースを検討し意見交換を行うことで、質の向上に努めています。

医局長 藤田 宗久



## 看護の日 イベント

令和元年六月七日(金)やすらぎホールで、今年も看護部主催の「看護の日」イベントを開催しました。今年度は「認知機能低下予防の体操」を計画し、認知症疾患医療センターと共催しました。地域の皆さま、デイケアの患者さま、外来患者さま、病棟患者さまと、総数七十七名の参加がありました。今年度は「椅子に座っていてもできる三つの体操」と「身体測定」を行いました。

椅子に座っていてもできる三つの体操は、①簡単にできる転倒予防の体操、②認知機能低下予防の体操、③ストレッチ解消の体操です。事前に参加者の方に配布する各体操の説明書を作成しました。当日は各体操をプロジェクターで映像化し、説明するスタッフと実技するスタッフの役割を決めて、見やすくわかりやすくなるように努めました。参加者はみな笑顔で、スタッフも参加者と一緒に体操を行い、ともに楽しみました。会場はペーパーフラワーや風船等で飾り付けを行い、親しみやすい和やかな雰囲気になるよう努めました。



身長体重測定では、BMIを算出し肥満度の目安を伝えました。血圧測定では、正常値の方、高血圧の方、低血圧の方に応じて、日常生活での留意点の助言を行いました。測定コーナーでは、混雑があり参加者に長い待ち時間がありました。効率を上げるために体重計、血圧計の台数を増やすことを次年度の課題にしたいと思います。

今回、「看護の日」のイベントに多くの方々にご来場をいただき、盛会のうちに終了することができました。皆さまのご支援あつてのことと改めて感謝しております。ありがとうございました。

主催者 小中 まゆみ



## こころの健康を考える講演会

令和元年六月十五日(土) 当院のやすらぎホールにて、第十九回「こころの健康を考える会」が開催されました。「統合失調症を生きる」病とともに、「自分らしく」と題して医局長藤田宗久先生に講演をいただきました。



統合失調症の症状や治療の経過、薬物治療の継続についての内容でした。統合失調症の症状や障害は、その人の社会生活に与える影響があります。患者さんの病気や障害の程度に違いはありますが「人生や自尊心、目標といった人としての在り方を取り戻すことによって、回復を目指すことができる」と感じました。

また、最近のニュースで取り上げられている、ひきこもりや高齢者の交通事故についての内容もありました。自動車等の安全な運転に支障を及ぼすおそれがある場合や、認知症であることが判明したときには、免許の返納も考慮することが必要だと感じました。

参加者からは「わかりやすい講演だった」「最近のトピックスもあり良かった」「勉強になった」「患者さんを一人でも多く社会復帰させて欲しい」「依存症についての講演を聴きたい」などの多数の感想や、要望がありました。

今後皆様のご要望を取り入れながら、日々の生活に役立つ講演にしていきたいと思っております。

運営委員長 松 竜也



## 谷野 医院

## 総曲輪デイケアセンター

## デイケア祭 開催

今年も毎年恒例になっているデイケア祭が令和元年六月十日(月)・十五日(土)の二日にわたり開催されました。

一日目はデイケア祭の大イベント、谷野芙美子院長による講演会があり、約六十名参加されました。今回は「谷野医院の歴史とこれから」がテーマで、谷野医院の立ち上げのエピソードから、患者様の要望がありそれに応えていったことで今の医院があると話されました。また、これから年齢に応じて病院を利用することや、次のステップとしてデイケアをつまく使って下さいとアドバイスされました。



院長講演

本祭は、今回、家族の皆様に参加して頂きたく、初の土曜日開催でした。金曜日・土曜日のメンバーさんを中心となり手探りで準備を進めてきましたが、当日には発達クラスやリワーククラスのメンバーさんたちも係の仕事をして下さり、グループの垣根を越えて「協力」していた姿が印象的でした。レストランでは今回、新メニューにアメリカンドッグが加わりました。衣はカリッ中はふわっとした食感に皆さんから「美味しいー」と高評価を頂きました。来年も期待して下さり。

バザーコーナーでは昨年以上に沢山の商品が並びました。とにかく値付けに苦労しましたが、当日もタイムセールなど機転をきかせてパワフルに対応しておられました。安くて良い商品が多いため、つい大人買いしてしまった方もおられるようでした。

ゲームコーナーは新しく考案された「アクロバット飛行」や「ボールナゲット」が、丁度良い難易度で賞品をゲットできたという喜びの声があがっていました。

今回も定番となった手話は、半年間の練習の総仕上げとして、心をこめて「赤いスイートピー」を歌いました。ダンスは昨年ヒットした「USA」をノリノリで踊りました。どちらも終了後は達成感のある良い笑顔をしておられ、見ている皆さんも楽しんでおられました。

こうして今年も大盛況にデイケア祭を終えることができました。最後に、ご来場の方々に深い感謝を申し上げます。そして長い準備に大変だったメンバーの皆さん本当にお疲れ様でした。

総曲輪デイケアセンター 川口 加奈子





# 熱気で溢れる 谷野呉山病院杯ゲートボール大会 開催



令和元年六月十四日(金)富山市花木体育センターにて、第二十八回谷野呉山病院杯親善ゲートボール大会が開催されました。地域から八チーム、谷野呉山病院からは一チーム、計九チームの出場があり、総勢五十六名の参加となりました。

今年度は、呉友チームから一名、谷野呉山病院チームの監督に招聘しました。また、初めてゲートボール競技を体験するメンバーや職員も多く、監督にご指導を頂きました。また、職員は地域のチームの一員としても出場し、競技に一生懸命取り組みました。熱気ある試合が繰り広げられ、優勝は呉友チーム、二位中老田チーム、三位寒江Aチームという結果になりました。残念ながら当チームは入賞することはできませんでしたが、温かい声援を頂きながら敢闘することができました。大会後には地域の方々からも「楽しかった」というお声を寄せて頂き、地域の方々との交流を深める良い機会になったと思います。

今年度も、地域の皆様には格別のご尽力を頂き、楽しい思い出の残る大会にすることができました。特に呉羽地区ゲートボール連合会の皆様には、昨年度同様、大会運営をして頂き、また、大会前の練習会では丁寧なご指導も頂き、大変お世話になりました。皆様のご協力に心より感謝しております。

リハビリテーションセンター 副島 由貴

# ふれあいフェスタ カラオケ大会 賑やかに開催

毎年恒例の「ふれあいフェスタ」カラオケ大会が今年も開催されました。各デイケアでの予選会を勝ち抜いたメンバーさんやごさん会、地域から九組のエントリーがあり、観覧者をあわせ約六十名と多くの方にご参加いただきました。入院中の患者さんや地域から多くの方が応援に駆けつけてくださり、みなさんと楽しい時間を過ごすことができ、地域の方とも交流を深められる機会となりました。



友井先生のユーモラスな講評、明るく楽しい鍋田さんの司会進行で出場者の緊張もほぐれ、みなさん素敵な歌声を披露してくださいました。また今年シークレットゲストとして谷野呉山病院職員によるゴザンレンジャーが出演し、会場と一体となり笑いの絶えない時間となりました。地域の方からは、友達と一緒に参加したいなどと来年の開催を今から楽しみにしてくださいる方もいらっしゃいました。

相談役を始め地域の方々のご協力もあり、今年もカラオケ大会を無事に開催することができ、みなさんと楽しい時間を過ごすことができました。今後多くの方にご参加していただき、地域との交流を深めていく機会を作っていきたいと思っております。

リハビリテーションセンター 守田 彩音







# 朝乃山 凱旋 優勝報告

令和元年6月13日  
大相撲令和元年夏場所で  
初優勝を果たした朝乃山関  
が優勝報告に来院しました。  
デイケアにはサインも飾  
られました。  
これからのご活躍も期待  
しております。

月	5	5	6	6	6	6	6	6	6	7	7	8	8
日	13	13	14	14	15	15	16	16	17	18	19	19	20
事項	初任者研修 法人理事会 看護の日 ふれあいフェスタ 総曲輪デイケア祭 職員総会	カラオケ大会	ゲートボール大会	ゲートボール大会	ゲートボール大会	ゲートボール大会	ゲートボール大会	ゲートボール大会	ゲートボール大会	ゲートボール大会	ゲートボール大会	ゲートボール大会	ゲートボール大会

## 法人の動き

**Interview**  
保健・医療・福祉の専門スタッフが連携したチーム医療を提供  
谷野 亮一郎さん

**Staff Introduction**

- 山本 浩二さん
- 森田 万寿美さん
- 坂本 美穂さん
- 三村 成徳さん
- 松島 祥博さん
- 前田 香穂さん

当院が「富山県就職応援BOOK COURSE 富山東部版」に掲載されました。  
病院を紹介した動画もありますので、下記QRコードを覗いてみてください。



## 一緒に働きませんか？

暑い夏が過ぎました。例年8月に実施していたごさんフェスティバルが猛暑を考慮して10月に変更されました。秋の雰囲気漂うフェスティバルも良かったですよ。(樹)

### 編集後記

紙面に掲載されている患者様の写真につきましては、掲載に際して、ご本人または保護者のご了承を頂いております。

## 第三十九回院内学会

テーマ 『原点回帰』  
「多様なニーズに私たちは どう向き合うか」

特別講演  
日時 11月24日(日) 13時30分  
場所 谷野呉山病院 地下会議室  
講師 春日 武彦先生  
成仁病院 院長